



## 日本弁理士会と中華商標協会の交流 20 周年に寄せて

この度、中華商標協会と日本弁理士会とは、最初に交流を開始し、「覚書」を締結した 2002 年から 20 周年を迎えました。この 20 年の間、毎年途切れることなく交流を続け、両会の関係をはぐくむことができましたことに心より感謝し、またこの上なく嬉しく思っております。

これまで 20 年の間に、両国の商標制度は大変大きく変化してまいりました。また、両国の経済的な結びつき、交流も益々深く、強くなってまいりました。

そのような状況のなかで、中華商標協会と日本弁理士会との交流は、両国の企業活動に大きく貢献し、また両国の商標制度の発展にも影響を与えたと考えています。

加えて、私共の交流は、堅苦しい研究や勉強、ディスカッションのみではなく、両国の間で互いに行き来し、中国の美しい名所旧跡を訪れたり、日本で桜の花見をしたりといった心と心の触れ合いもある充実したものでした。そのような人間的な交流も通じて、私共はお互いに理解しあうことができるようになったと感じています。

今後も日中の人的、経済的交流はさらに深まり、結びつきが強くなることを希望しております。その中で、中華商標協会と日本弁理士会とが、これまでと同様に交流を続け、互いに高めあうことができるように、日本弁理士会は努めて参ります。

両会のこれからの益々の発展を祈りつつ、私のご挨拶とさせていただきます。

日本弁理士会会長 **杉村 純子** (杉村 純子)

## 日本弁理士会与中华商标协会交流 20 周年寄语

中华商标协会与日本辨理士会从 2002 年开始建立交流关系并签订备忘录以来，今年我们迎来了第 20 周年。在这 20 年间，双方协会每年不间断地举办交流活动，建立了友好的关系，对此我表示衷心的感谢，并感到由衷的喜悦。

在这 20 年的岁月里，两国的商标制度不断完善及发展，同时，两国经济合作也不断加强，交流也日益紧密。

在这样的大环境下，我认为中华商标协会与日本辨理士会之间的交流为两国的企业活动做出了巨大的贡献，同时对两国的商标制度的发展也产生了积极影响。

与此同时，我们不仅在较为正式的研究和学术讨论的层面进行了互动，而且还实现了深层次的文化交流，参观中国的名胜古迹，欣赏日本的樱花等。通过人与人之间的心灵与文化的沟通，我们之间实现了相互理解。

我希望今后中日之间能够进一步加深人文交流及经济合作，建立更加紧密的友好关系。同时，日本辨理士会将一如既往继续与中华商标协会密切交流，为双方协会的共同发展继续努力。

最后，我谨代表日本辨理士会为今后双方协会的发展表示忠心的祝福。

日本辨理士会会长 **杉村 純子** (杉村 純子)